

## 校長室から応援メッセージ(2)

令和7年6月12日(木)

「受験勉強」のために「受験」がある・・・

皆さん、こんにちは。梅雨入りとなりました。雨の日の登下校は本当にたいへんだと思います。交通安全には気をつけてください。さて、季節の移り変わりのように時間というものは一つの方向に流れますが、私たちが心の中に感じる時間は、未来を展望して先走ったり、過去を振り返って後戻りしたり、様々に流れます。

倫理の授業ではありませんが、近代とは人間の理性への信頼が極端に高まった時代です。「ああ」するためには「こう」すればいい・・・、つまり目的「ああするため」と手段「こうする」を明確に区別する思考の枠組が当たり前になりました。そのため結果だけが重視され、手段としてすることの大切さが見落とされてしまったのでは・・・、と思います。

皆さんは来春の大学合格のために今懸命に努力しています。受験生の、ごく普通の覚悟です。その上で申し上げるのですが、今頑張っていることそのこと自体の大切さを改めて認識してほしいと思います。私は、受験のために受験勉強がある、というよりも、受験勉強のために受験がある、と考えたいと思っています。

受験勉強で私たちが探究する世界は、どこまで理解すればそれで終わり、ではなく、広がりにおいても深さにおいても無限の世界です。高校時代にわかつたつもりでいたことが実はそうではなかった、という経験も多いでしょう。無限の世界の探究には具体的な目標、目安があればいい・・・、それが大学受験なのです。

試験は皆が同じ道筋をたどって正解に至るのではありません。何を材料に、どのように思考するのか、そこにその人らしさ、個性が形成されます。納得するまで問題と向き合う姿勢は、将来の仕事に向かう姿勢、生きる姿そのものです。運に左右されやすい合否結果より、日頃の勉強こそが未来の自分を支えるのです。

私はこの歳になっても自分の予備校時代を振り返ります。そして予備校に通う斉木少年と目が合います。皆さんは将来、山梨予備校で過ごす日々からどんな記憶がよみがえるのでしょうか。夏期講習会に通う自分の姿からは、猛暑に負けない熱いメッセージを受け取ってほしいと願います。皆さんの健闘を祈ります。